

令和6年度

# 堀江南小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 規律ある学習活動の展開と保護者と連携した家庭学習の充実
- ICTを効果的に活用し、さらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員  
 校長:木村 栄治 教頭:多喜田 郁生  
 美保 美津江 教務:竹野 啓治 人権教育主事:美保 美津江  
 特別支援教育コーディネーター:竹野 啓治  
 研修主任:竹野 啓治 養護教諭:大北 さおり

校長

木村 栄治

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

校内研修における教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各学年で学習する漢字の読み書きや計算等は、ある程度身に付いている児童が多い。 ●文章を読み取ったり、自分の思いや考えを書いたりすることに課題がある。	・各学年で学習する漢字・計算を十分身に付けている。 ・自分の思いや考えの組み立てを意識して文に書き表すことができる。	①学習規律を徹底するとともに、「わかる」「楽しい」「つながる」授業を行う。 ②基礎学力の定着を目的とした朝の活動「ぐんぐんタイム」を実施する。 ③複式学級の利点を生かす。自主的に学習できるような課題を用意したり、学年の手本を示したりする。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○体験的活動を通して、グループで調べたり、まとめたりすることが好きな児童が多い。 ●身に付けた知識・技能を活用して、考えをまとめたり、伝えたりする力に課題がある。	・身に付けている知識・技能を活用して考えることができる。 ・自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。 ・読書活動を通して、豊かな感性、表現力を身に付けている。	①これまでの実践とICTの最適な組み合わせを実現する授業を行う。 ②児童朝会やなかよし班活動で培った表現力を各教科において発揮する場面をできるだけ多く設定する。 ③自主学习や日々の授業の学びを掲示することで、互いの学びを共有する。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については、真面目に取り組むことができる。 ●自分から進んで学習や活動に取り組むことや、不得意な学習に計画的に取り組むことに課題がある。	・自分から進んで学習に取り組む、粘り強くやり抜くことができる。 ・自分の学力に応じた家庭学習や自主学习を主体的に取り組むことができる。	①授業におけるルール等を適切に設け、規律ある学習活動を行う。 ②保護者と連携し、子どもたちが主体的に取り組む家庭学習の充実を行う。 ③個に応じた学習活動ができるよう、ICTを活用した授業を実践する。			

## 令和6年度 学力向上ロードマップ

